



2025年大阪万博開催決定記念常設展

# ファンタジック TARO

2019年1月18日（金）～4月26日（金）

本展では岡本太郎がデザインしたインテリアや商業製品などのプロダクトを中心に紹介します。

岡本は絵画や彫刻などを制作するとともに、数多くのプロダクトのデザインも手がけています。1950年代半ばには建築家の丹下健三やデザイナーの剣持勇とともに国際デザインコミッティー（現・日本デザインコミッティー）の創立メンバーとなり、グッドデザイン運動の先駆けとして様々な分野の芸術家と協同制作を行いました。芸術は芸術家だけのものではなく、だれでも手に取れて親しめるべきである。そう考えていた岡本は、人々が生きる生活の中にこそ芸術の必要性を見出します。しかし快適さを追求したモダンデザインに満足しなかった岡本は、人間と対決することで人間性を回復させるという理念のもと、様々な“遊び”心にあふれた生活用品を生み出していきます。その活動は、イスが生き物の姿をした《坐ることを拒否する椅子》（1968年）や「岡本太郎インテリア」展（1970年）という形でも結実しました。

昨年は「太陽の塔」のリニューアル公開や2025年の大阪万博が決定するなど、岡本太郎が再び注目される機会となりました。再びの大阪万博開催を記念し、本展を開催します。

岡本が生活の中に取り入れた「創造的な笑い」を身近に感じていただける機会となれば幸いです。



《まどろみ》 布・金属、1967年

## みどころ

- 岡本が手がけたスタンドグラスや、実際に使用したデスクなどを初公開！
- 日本初の販売となった、岡本がデザインしたテレホンカードを紹介！
- 当時日本で唯一航行していた飛行船の模型を展示！



《レインボー号》 飛行船、1973年



《哄笑》 スタンドグラス、1986年

# PRESS RELEASE



## 出品作品

油彩、版画、彫刻、家具、食器、服飾、映像、ポスター 他 計約 130 点

## 関連イベント

ワンポイントトーク

学芸員がお客さんと一緒に展示室内で実際に作品をみながら、見どころを紹介します。

開催日：2/23(土)、3/9(土)

開催時間：13:30~

料金：要観覧料



本展会場内

※その他イベント、イベントの詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

## 開催概要

会場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会期：2019年1月18日(金)~4月26日(金)

主催：川崎市岡本太郎美術館

開館時間：9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日、2月12日(火)、3月22日(金)

観覧料：2019年1月18日(金)~2月14日(木)までは本展のみ開催  
一般 500(400)円、高・大学生・65歳以上 300(240)円

2019年2月15日(金)~4月14日(日)までは  
一般 700(560)円、高・大学生・65歳以上 500(400)円  
※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

2019年4月16日(火)~4月26日(金)までは本展のみ開催  
一般 500(400)円、高・大学生・65歳以上 300(240)円

※中学生以下は無料

※( )内は20名以上の団体料金



### 〈お問い合わせ〉

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：篠原 広報担当：佐藤

TEL: 044-900-9898 / FAX: 044-900-9966 / MAIL: pr@taromuseum.jp

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内